

内政・外交

- 4日、ブジュンブラで東アフリカ共同体(EAC)臨時首脳会合が開催され、チセケディ大統領、カガメルワンダ大統領を含む各国首脳らが出席し、ルアンダ・ロードマップの進捗等コンゴ(民)情勢について協議した。
- 5日、MONUSCO のヘリコプターが攻撃を受け、1名が死亡。
- チセケディ大統領は、5日コンゴ(共)、6日アンゴラを訪問した後、南ア・ケープタウンを訪問し、マイニング・インダバに参加。
- 6日、米大使がチセケディ大統領に信任状捧呈。
- 8~13日、スペハー国連平和構築支援担当事務次長補らが当地を訪問。
- 9日、チセケディ大統領がコモロを訪問。
- 10~12日、ブカブで第9回アマニ・フェスティバル(音楽やダンスの祭典)が開催された。
- 15日、コンゴ(民)兵士によるルワンダ側への越境・銃撃事件の発生がルワンダから発表されたが、南キブ州知事はルワンダに向けた発砲や越境はなかったと説明。
- 17日、アディスアベバにおいて、AU総会のマージンで、コンゴ(民)東部における和平プロセスに関する会合が開催され、チセケディ大統領や、カガメルワンダ大統領らが出席した。
- 18~19日の第36回AU定例総会に、チセケディ大統領が出席。
- 22日、米国国務省報道官が、17日のAU平和安全保障理事会の当国東部情勢に係るコミュニケを歓迎し、悪化している人道状況への懸念を示すとともに、M23、ISIS、CODECO、FDLR等の武装勢力による人権侵害を非難し、全武装勢力が敵対行為を止め、無条件で当国東部から撤退することを要求するプレスステートメントを発出。
- 25日、キンシャサで中部アフリカ諸国経済共同体(ECCAS)首脳会議が開催され、チセケディ大統領が議長を務めた。
- 27日、チセケディ大統領がジュネーブで第52回人権理事会に出席し、当国人権状況について説明した。

経済

- 15日、IMFの拡大クレジットファシリティ(ECF)の第4回レビューの準備のため、IMFのミッションが8-14日にキンシャサでコンゴ(民)政府当局と協議。2022年の実質GDP成長率を8.5%に上方修正。
- 19日、2023年1月の政府の財政が赤字。同月の歳入500百万ドルに対し、歳出は730百万ドル。

- 21 日、財務監査総局(IFG)が、コントラシノワの実施状況における不平等を批判する報告書を発表し、中国大使館が反論。
- 26 日、エネルギー大臣が、ルブンバシ近郊にコンゴ(民)企業の Kipay Energy により建設されたフングルメ太陽光発電所を視察。4 月に操業開始の予定で、46 メガワットの出力が SNEL の電力網に供給される。

(注) 本月報は、コンゴ(民)に関する各種報道等を元にとりまとめたものであり、当館がその内容の正確性や信憑性を保証するものではありません。また、日本政府やコンゴ(民)政府の公式見解と異なる場合があります。